

まちの話題

「あすてらす」で健康づくり支援事業を視察



韓国・ソウル市陽川(ヤンチョン)区役所研修団16名が、6月24日に総合保健福祉センター「あすてらす」を視察訪問しました。訪問では、地元医師会、歯科医師会、九州大学、地元スイミングスクール等で組織されたNPO法人あすてらすヘルスプロモーションと健康課が協働で行っている「高齢者の健康づくり支援事業」を視察しました。

陽川区は、福祉センター建設を予定しており、「あすてらす」の建設の経緯や、NPO法人設立の経緯、施設を使って行う事業について尋ねたり、同センターのトレーニングルームと歩行専用プールを使った運動の見学を行いました。

覚せい剤・シンナー「ダメ。ゼッタイ。」

6月26日、西鉄小郡駅周辺で小郡三井地区「ダメ。ゼッタイ。」街頭キャンペーンがありました。市内の専門学校生を中心とするヤングボランティア、小郡ライオンズクラブ、学校薬剤師会の皆さんが、啓発パンフレットの配布や募金活動を通して薬物乱用防止を訴えました。

シンナーや覚せい剤などの薬物乱用は深刻な社会問題であり、昨年シンナーで検挙された少年の数は福岡県で198人と、8年連続して全国ワースト1位になっています。

福岡県久留米保健福祉環境事務所の池田さんは「覚せい剤やシンナーなどは1回でも乱用すると強い依存性によりやめられず、精神障害などをひきおこす大変恐ろしい物であることを多くの若者たちに認識してほしい」と話していました。



「社会を明るくする運動」出発式



7月1日、市役所で「第58回社会を明るくする運動」の出発式が行われました。出発式には、実施委員会のメンバーである市長を始め警察、教育委員会、区長、保護司が出席しました。

出発式では、2人のミス織姫が1日委員長に任命され、「全ての人々が犯罪や非行に走ることなく、安心してくらせる社会を毎日かならずむかえることができるために一人でも多くの市民の方々の参加協力で『犯罪や非行のない』地域社会を実現できるように取り組んで参ります。」と挨拶しました。

出発式後、西鉄小郡駅で花の種などを配りながら犯罪や非行防止を呼びかけました。

ポンプ操法大会

7月6日、三井消防署訓練場(大板井)において、小郡市消防団(川口大団長)による「第27回小郡市消防団ポンプ操法大会」が行われました。

ポンプ操法大会では、ポンプ車の操作に関わる基本動作や団員の動作の正確さや迅速さ、チームワークなどが審査されました。7つの分団から選ばれた選手達は、張り詰めた雰囲気の中で日頃の練習の成果を披露しました。選手たちの動きに、来賓などから「火災の時でも安心できる」と声が聞かれました。

また、女性消防団による救急救護法展示が行われ、AED(自動体外式除細動器)を使った訓練も披露しました。

大会の順位は次のとおりです。

- 団体表彰 優勝 第3分団、準優勝 第2分団、3位 第4分団、4位 第1分団、5位 第6分団、6位 第5分団、7位 第7分団
- 個人表彰 指揮者 福田大輔(第3分団)、1番員 山田繁男(第4分団)、2番員 永利隆幸(第5分団)、3番員 伊藤哲也(第4分団)、4番員 稲益賢朗(第4分団)

